

## 27年1月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成26年 12月20日～ 27年1月10日

## 2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
1月分の回答企業数は5社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		27/1月	2月	3月
入荷動向	スギ	25.0	33.3	33.3
	ヒノキ	0.0	33.3	33.3
	カラマツ	△ 25.0	33.3	0.0
	トドマツ	33.3	50.0	0.0
消費動向	スギ	0.0	33.3	33.3
	ヒノキ	0.0	33.3	33.3
	カラマツ	△ 50.0	0.0	0.0
	トドマツ	△ 50.0	0.0	0.0
在庫動向	スギ	25.0	0.0	0.0
	ヒノキ	△ 33.3	0.0	0.0
	カラマツ	25.0	33.3	0.0
	トドマツ	50.0	50.0	0.0

・スギ原木の入荷は3ヵ月連続して増加、ヒノキは1月の横ばいから2月、3月は増加に、カラマツは1月の減少、2月の増加、3月は横ばいに、トドマツは1月、2月は増加、3月は横ばいに。

・スギ及びヒノキ原木の消費は1月の横ばいが2月、3月は増加に、カラマツ及びトドマツは1月の減少が2月、3月は横ばいに。

・スギ原木の在庫は1月の増加が横ばいが2月、3月は横ばいに、ヒノキは1月の減少が2月、3月は横ばいに、カラマツ及びトドマツは1月、2月の増加が、3月は横ばいに。

## (2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	27/1月	2月	3月
スギ	25.0	33.3	0.0
ヒノキ	66.7	33.3	0.0
カラマツ	50.0	33.3	0.0
米マツ	66.7	50.0	50.0
北洋カラマツ	0.0	50.0	50.0
その他	50.0	50.0	50.0

・スギ、ヒノキ及びカラマツの合板用原木購入価格は1月、2月の強含みないしやや強保合が3月には横ばいに。

・米マツ及びその他は3ヵ月連続してやや強含み。北洋カラマツは1月の横ばいが2月、3月はやや強含みに。

## モニターからのコメント

(原木荷動き)

- ・カラマツ入荷増は冬季伐採量の増加のため。
- ・スギ入荷は安定、カラマツは他メーカーとの競合により減少。スギ消費は横ばい、カラマツの減は外材で生産する。在庫は横ばい。
- ・雪の影響で入荷減。今月は生産調整継続。

(原木価格)

- ・外材は以前より柔軟な対応になっている、スギ横ばい、カラマツは多少上がり気味。
- ・バイオ含め原木の取り合いか。

## 27年1月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		27/1月	2月	3月
生産動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (12mm)	40.0	0.0	0.0
	〃 (15mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (24mm)	△ 20.0	0.0	0.0
	〃 (28mm)	△ 20.0	0.0	0.0
出荷動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (12mm)	40.0	0.0	0.0
	〃 (15mm)	20.0	0.0	0.0
	〃 (24mm)	40.0	0.0	0.0
	〃 (28mm)	20.0	0.0	0.0
在庫動向	構造用(9mm)	△ 25.0	33.3	33.3
	〃 (12mm)	△ 20.0	25.0	25.0
	〃 (15mm)	0.0	25.0	25.0
	〃 (24mm)	△ 20.0	25.0	25.0
	〃 (28mm)	0.0	25.0	25.0

・9mm及び15mmの生産は3ヵ月連続して横ばい、12mmは1月増加の後2月、3月は横ばいに、24mm及び28mmは1月減少の後2月、3月は横ばいに。

・9mmの出荷は3ヵ月連続して横ばい、それ以外の品目の出荷は1月の増加の後2月、3月は横ばい。

・9mm、12mm及び24mmの在庫は1月の減少が、2月、3月は増加に、15mm及び24mmの在庫は1月の横ばいが2月、3月は増加に。

## (2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	27/1月	2月	3月
構造用(9mm)	25.0	0.0	33.3
〃 (12mm)	20.0	0.0	25.0
〃 (15mm)	20.0	0.0	25.0
〃 (24mm)	20.0	0.0	25.0
〃 (28mm)	20.0	0.0	25.0

・構造用合板出荷価格はどの品目も1月の強保合が2月は横ばい、3月は再び強保合に。

## モニターからのコメント

## (合板荷動き)

- ・生産は横ばいと見るが、冬期間は多少減少、出荷は今のところ順調。
- ・生産は12mmを増やし、その分24mm、28mmを減。1月の生産分は出荷見込み。在庫は全品目多少のブレはあるが、ほぼ横ばい。
- ・今月も生産調整継続。

## (合板価格)

- ・下げ止まり感あり。
- ・値上げ発表したものの1月はほぼ横ばい（先月トラック手配が難しく受注残があるため）。
- ・コストアップのため値上げへ（値戻し）。